

平成13年度

北海道高等学校教育研究会

会 報

第75号

ごあいさつ

北海道高等学校教育研究会

会 長 島 隆

盛夏の候となりましたが、会員のみなさまにはますますご健勝にお過ごしのことと存じます。

北海道高等学校教育研究会も昭和38年に創立されてから39年目の年を迎えました。会報74号でお知らせしましたとおり、平成12年度の本会の事業は、お蔭を持ちまして、大きな成果を得て、計画通り終了することが出来ました。これもすべて、運営に当たられた各支部・各部会の役員の献身的な取り組み、そして、会員各位の積極的なご参加とご協力、役員・事務局の労をいとわぬ仕事ぶりがあったのであります。本当にありがとうございました。

さて、さる5月31日（木）に第1回役員会が開かれ、昨年度の事業と会計決算報告と今年度の事業計画、予算等につきましてご承認をいただき、新たな活動を始めました。ただし、補助金の打ち切りなどに関わる課題は第2回役員会まで継続審議となりました。役員につきましては、田村 勸会長、吉毛利正也副会長のご退職と東條幸男副会長、石垣 巧監事のご栄転の報告の後、役員改選の年に当たる今年度の役員が選考委員会から提案され、原案どおり承認されました。その結果、私が会長を仰せつかり、副会長に小野良隆先生、宮川恒美先生、中鉢英敏先生、監事に北島捷弘先生、北村昭雄先生が就任、また、各地区支部・教科部会で選任された支部長・部会長、事務局担当者が報告され、本年度の態勢が整いました。これまで、本会のためご尽力くださいました方々に心より感謝申し上げます。

本年度の活動計画の詳細は、この会報に掲載されておりますが、第39回の研究大会は、明年の1月9日（水）、10日（木）に、北海道厚生年金会館と各教科部会会場で開催されます。研究主題は、引き続き「時代の変化に対応する高等学校教育の創造」とすることに決まりました。

子どもを取り巻く社会の変容は依然として、極めて大きなものであります。新学習指導要領の実施まで2年を切り、完全週5日制と新教科「情報」や「総合的な学習の時間」などの新教育課程対応が大きな課題となっております。絶対評価の導入による高校入学者選抜のあり方、中・高・大・企業の接続の問題、さらに高校卒業生の就職機会の確保という問題もあります。また、教育改革国民会議報告に基づく教育新生プランや教育改革関連法案、省庁再編に伴う新中央教育審議会の発足などにも目を向けなければなりません。このような課題のなかで、多様な生徒を教育している各教師が、生徒一人一人と日々の実践の中で向き合うことは容易なことではありません。その解決の一助となるような本研究会でありたいと思います。

第1日目の全体講演では、元一橋大学学長、現共立女子大学学長で社会学者であります阿部謹也先生をお迎えします。会員各位の一層の積極的なご参加を期待しております。

5月31日の午後1時00分より、ルーシス札幌において、本年度第1回役員会が開かれました。全道から地区支部長と各教科部会長が集まり、平成12年度事業の実施報告・平成13年度事業計画の審議、役員の補充が行われました。以下、その概要をお知らせします。

(1) 平成12年度事業報告

ア 会報

① 第73号 発行(平成12年7月10日)

A4判 6ページ

② 第74号 発行(平成13年3月18日)

A4判 24ページ

内容 第38回研究大会報告

イ 第38回北海道高等学校教育研究大会

第1日目 全体集会(平成13年1月10日)

北海道厚生年金会館

講師 河合 隼雄

演題 「青春の夢」

第2日目 教科別集会(平成13年1月11日)

ウ 研究紀要 第38号発行

規格 オフセット A4判 67ページ

発行日 平成13年3月10日

掲載論文 7編

教職一般 0編

教科 7編

(内訳)

数学1 理科1 英語1 家庭1

工業1 商業1 水産1

(2) 平成13年度事業計画

ア 研究紀要 第39号発行

規格 A4判 約100ページ

発行 平成14年3月

① 原稿募集の種類

(ア) 教科は、1教科につき25,000字以(13件まで)〔横書き 横25文字×1,000行〕
(原稿の集約・審査は各教科部会長の担当です)

(イ) 教職一般は、1編につき10,000字以内(2件まで)〔横書き 横25文字×400行〕
(原稿の集約・審査は各地区支部長の担当です)

② 掲載までの流れ

(1)

執筆者選定
各支部・教科部会長



(2)

報告(本部へ事業計画書を提出)
各支部・教科部会長

- ・研究紀要の執筆者が決まり次第、本部事務局にFAXでお知らせください。(様式3-7, 8)
- ・発表論文が特定校に集中したり、特定個人の執筆に偏ったりしないようにご配慮ください。
- ・論文執筆者は本研究会の会員に限ります。

FAX締切日 9月12日(水)

(3)

執筆者決定
本部

9月18日(火)

(4)

執筆者決定報告(各支部・教科部会長へ)
本部

9月18日(火)

9月18日(火)



(5)

原稿提出(各支部・教科部会長へ)
発表者

締切日10月31日(水)

(6)

原稿審査
各支部・教科部会長



(7)

原稿送付(書留)
各支部・教科部会長

・締切日11月7日(水曜日)(必着)
・本部事務局へ送付



(8)

編集・発行
本部

③ その他

(ア) 紀要抜刷50部は執筆者にお渡しします。

イ 会報 第75号、第76号発行

① 第75号

規格 A4判 6ページ

発行 平成13年7月

② 第76号

規格 A4判 24ページ

発行 平成14年3月

内容 ・第39回研究大会 内容報告
・地区支部活動状況

ウ 第39回北海道高等学校教育研究大会

① 全体集会

期 日 平成14年1月9日(水)
 会 場 北海道厚生年金会館
 研究主題 時代の変化に対応する高等学校教育の創造
 日 程

9:00	10:30	12:00	12:50	13:30	15:30
		準 備	受 付 (教科打合せ)	開会式	講 演

運 営 大会役員
 講 演 講 師 阿部 謹也 氏 1935年東京生まれ 共立女子大学学長
 演 題 (未定)
 司会者 南空知支部

② 教科別集会

期 日 平成14年1月10日(木)
 会場・テーマ 各教科部会ごとに決定
 日 程 (概要)

9:00	12:00	13:30	15:00	15:30
受 付	講演又は 研究討議	昼 食 (休 憩)	講演又は 研究討議	部会・総会

※ 部会により時程は多少異なります。

平成13年度 北海道高等学校教育研究会 教科別テーマ・会場

部 会	会 場	研 究 テ ー マ
国 語 部 会	札幌市生涯学習総合センター	伝え合う力を高め、心情を豊にする国語教育を目指して
地歴・公民部会	北海道札幌稲北高等学校	生徒の主体性を引き出す授業の創造
数 学 部 会	札幌市北区民センター	『基礎・基本の定着を図り、創造力を養い活用する能力を育てる数学教育』 “数学的活動を生かし、自ら学ぶ力を育てる授業の実践”
理 科 部 会	北海道札幌平岸高等学校	『これからの理科教育はどうあるべきか。』 ① 自ら学ぶ意欲を育てる理科教育の在り方 ② 効果的な探求活動・課題研究の進め方
保健・体育部会	北海道札幌南高等学校	21世紀の保健体育のあり方
養 護 部 会	北方圏センター	養護教諭の専門性と教育活動
芸 術 部 会	北海道札幌南高等学校	21世紀の芸術教育
英 語 部 会	北海道札幌厚別高等学校	21世紀に生きる地球市民を育む英語教育 －実践的コミュニケーション能力の育成を目指して－
家 庭 部 会	札幌市民会館(2F 会議室)	自立した生活者を育てる家庭科教育
農 業 部 会	札幌市民会館	新しい時代に向かったの農業教育の使命の再発見と推進はいかにあるべきか
工 業 部 会	北海道札幌琴似工業高等学校	「時代の変化に対応する工業教育の創造と実践」
商 業 部 会	北海道札幌啓北商業高等学校	新時代に求められるビジネス教育－学校そして人づくり－
水 産 部 会	北海道小樽水産高等学校	新世紀のふるさとをきり拓く水産教育はいかにあるべきか

◎参加料 会 員 2,000 円
 非会員 3,500 円

(3) 平成13年度 北海道高等学校教育研究会役員

〔会長〕 島 隆 (札幌旭丘)
 〔副会長〕 小野良隆 (札幌琴似工) 宮川恒美 (札幌啓成)
 中鉢英敏 (札幌北)
 〔監事〕 北島捷弘 (札幌新川) 北村昭雄 (札幌東商業)
 〔顧問〕 磯貝芳司 尾崎信夫 小柳六郎 本間恒太
 染谷昌志 綾井健二 武田泰明 田村勳

〔地区支部長〕
 (石狩) 菅原正利 (石狩南)
 (渡島) 海老子格行 (函館商業)
 (桧山) 野土谷捷彦 (熊石)
 (後志) 長 祐弘 (留寿都)
 (南空知) 三栗毅毅 (南幌)
 (北空知) 室崎卯人 (滝川工業)
 (上川) 河村 勁 (旭川東)
 (留萌) 野瀬政裕 (増毛)
 (宗谷) 小笠原英俊 (豊富)
 (網走) 橋本定彦 (紋別北)
 (釧路) 石井敏彦 (釧路商業)
 (根室) 郷 保雄 (羅臼)
 (十勝) 鳥居大路勝廣 (中札内)
 (胆振) 大高良 (登別)
 (日高) 後藤 隆 (平取)

〔教科部会長〕
 (国語) 酒井徳長 (札幌稲雲)
 (地理・公民) 山本良久 (札幌稲北)
 (数学) 北島捷弘 (札幌新川)
 (理科) 津田英雄 (札幌藻岩)
 (保健・体育) 菅原正利 (石狩南)
 (養護) 武内光一 (札幌北)
 (芸術) 水野忠昭 (札幌東豊)
 (英語) 久富和栄 (札幌東陵)
 (家庭) 菅原正利 (石狩南)
 (農業) 小原忠雄 (深川農業)
 (工業) 小野良隆 (札幌琴似工)
 (商業) 小富 幸治 (札幌北商)
 (水産) 小越 征夫 (小樽水産)

〔事務局〕

事務局 局長 本間 暹
 事務局 次長 青塚 健一
 三井 礼二 (総務)
 鎌田 園治 (企画)
 成田 英行 (運営)

		総務部		大会運営部		
業 務		役員登録	会 員 登 録	会場設営	会場設営	
		役書類	書 類 作 成	受付	受付	
		渉外	編 集 録 送	救 護	救 護	
		印刷	刷 送	放 送	放 送	
部 長		矢野 仁		久保田法順		
副 部 長		佐々木高至		奥井 則行		
担 当	編 集 要 項 録	◎濱野 貢	中村志麻子	会場設営	◎吉田 政弘	尾崎 寿春
	大会案要	西井 雅宏	齋 昌己		三浦 裕司	奥井 則行
	大会要記	近藤 正博	関 孝志	奥井 剛英	杉山	野村 雅博
	会 員 登 録	◎小野 信幸	大木 秀一	受 付	◎五十嵐昌宏	船本 治
		佐々木高至	布施 喜明		小侯 禎文	赤石 一憲
	廣川 雅之	中井 勝弘	北口 さつき	石井 直衛		
	蒲生 崇之		宗石 佳道	瓜田 純子		
			江口 學	平山 斌一		
	發送・印刷	◎尾崎 正則	佐藤 公征	接 待	◎塚原 英代	新谷めぐみ
	各種文書	坂口 圭介	関山 秀明		千葉 順世	菊池 義子
	大会案内証	井田 嘉一		中村 裕子	伊東 陽子	
				中村 早苗	長谷 勝則	
				佐藤 由佳		
	40周年	◎三井 貴之	佐藤 公征	放 送	◎須藤喜久男	屋敷 健一
	会 計	成田 英行	澤田 磨理子			
	その他・会に関わる諸業務	◎鎌田 園治				
		◎澤田 磨理子				

平成13年度 地区支部、教科部会事務局

【地区支部】

支部名	事務局校	事務担当者	事務局所在地		電 話	F A X
石 狩	石 狩 南	会 田 悟	061-3208	石狩市花川南8条5丁目1番	0133-73-4181	73-4184
渡 島	函館商業	佐 藤 強	041-0812	函館市昭和1丁目17-1	0138-41-4248	41-4250
檜 山	熊 石	谷 川 信幸	043-0402	熊石町字鮎川103-4	01398-2-3382	2-3382
後 志	留 寿 都	大 城 吉史	048-1731	留寿都村字留寿都179-1	0136-46-3376	46-3386
南空知	南 幌	松 井 則之	069-0238	南幌町元町3-2-1	011-378-2248	378-2629
北空知	滝川工業	昆 野 茂	073-0006	滝川市二の坂町西1-1-5	0125-22-1601	22-1602
上 川	旭 川 東	中 川 和憲	070-0036	旭川市6条通11丁目左	0166-23-2855	23-2623
留 萌	増 毛	三 國 文彦	077-0297	増毛町南暑寒町2丁目38	0164-53-2134	53-1325
宗 谷	豊 富	藤 岡 道雄	098-4100	豊富町字サロベツ475	0162-82-1709	82-1194
網 走	紋 別 北	星 加 敦美	094-8581	紋別市落石町1丁目3-18	01582-4-5285	4-5285
釧 路	釧路商業	三 浦 法久	084-0902	釧路市昭和41番地154	0154-52-3331	52-3333
根 室	羅 臼	柿 本 比佐緒	086-1834	羅臼町礼文町9-3	01538-7-2481	7-3359
十 勝	中 札 内	奥 村 武司	089-1324	中札内村東4条北1丁目1番地	0155-67-2326	63-5326
胆 振	登 別	蓬 田 恒春	059-0016	登別市片倉町5丁目18-2	0143-85-2911	85-2911
日 高	平 取	沼 澤 博美	055-0107	平取町本町109-2	01475-2-2709	2-2849

【教科部会】

教科名	事務局校	事務担当者	事務局校所在地		電 話	F A X
国 語	札幌稲雲	遠 藤 彰	006-0026	札幌市手稲区手稲本町6条4-1-1	011-684-0034	684-0040
歴・地	札幌稲北	滝 村 聡宏	006-0860	札幌市手稲区手稲山口254番地	011-694-5033	694-5074
数 学	札幌新川	清 水 貞人	001-0925	札幌市北区新川5条1丁目1番1号	011-761-6111	761-7911
理 科	札幌平岸	守 屋 開	062-0935	札幌市豊平区平岸5条18丁目	011-812-2010	812-2049
健・体	石 狩 南	三 宅 俊範	061-3208	石狩市花川南8条5丁目1番	0133-73-4181	73-4184
養 護	札 幌 西	佐 藤 菜子	064-0954	札幌市中央区宮の森4条8丁目	011-611-4401	611-4403
芸 術	札幌東豊	野 屋 敷裕康	007-0820	札幌市東区東雁来町376番1	011-791-4171	791-9116
英 語	札幌厚別	稲 毛 知子	004-0069	札幌市厚別区厚別町山本750-15	011-892-7661	892-7799
家 庭	石 狩 南	成 田 今日子	061-3208	石狩市花川南8条5丁目1番	0133-73-4181	73-4184
農 業	深川農業	田 中 敏幸	074-0028	深川市一己町字一己633番地1	0164-23-3043	23-2952
工 業	札琴似工	高 橋 芳光	063-0833	札幌市西区発寒13-11-3	011-661-3251	661-3252
商 業	札幌北商	永 野 博子	005-0841	札幌市南区石山1-2-15	011-591-2021	591-2023
水 産	小樽水産	中 谷 秀夫	047-0001	小樽市若竹町9-1	0134-23-0670	23-4553

(部会長校) 理 科 (札幌岩) 英 語 (札幌東) 養 護 (札幌北)

北海道高等学校教育研究会
平成13年度 会 員 加 入 状 況

(7月3日現在)

教科 支部	国語	地歴 公民	数学	理科	保体	養護	芸術	英語	家庭	農業	工業	商業	水産	合計	前年 合計
石狩	139	182	148	178	137	41	87	174	47	10	17	62		1,222	1,258
渡島	22	24	27	22	38	6	7	28	5	11	10	18	35	253	263
松山	11	14	12	10	8	4	2	16	4		1	13		95	94
後志	20	26	14	18	22	2	5	16	8	28	7	17	38	221	197
南空知	15	21	21	14	17	4	6	19	7	14	9	14		161	183
北空知	16	17	9	8	13	3	6	13	7	16	8	17		133	160
上川	45	35	36	29	19	5	17	29	11	30	17	28		301	324
留萌	9	8	7	5	6	2	1	12	1	6	1	9		67	56
宗谷	9	11	10	9	22	6	2	10	7	4	8	19		117	122
網走	34	37	27	21	49	3	9	27	12	9	12	27		267	256
釧路	22	27	29	15	14	1	7	17	5	4	7	17	9	174	179
根室	4	8	8	13	3	3	3	8	4	11		8		73	77
十勝	14	24	22	22	28	3	9	25	6	31	3	9		196	203
胆振	28	27	21	25	14	6	6	19	6	5	24	21		202	207
日高	8	17	16	7	8		4	15	3	10		9		97	107
合計	396	478	407	396	398	89	171	428	133	189	124	288	82	3,579	
前年合計	415	497	413	417	365	86	180	456	144	195	131	303	84		3,686

会員数

年度	平 2	平 3	平 4	平 5	平 6	平 7	平 8	平 9	平 10	平 11	平 12	平 13
年度末	5,482	5,269	5,142	4,945	4,807	4,777	4,338	4,064	4,167	3,849	3,686	3,579

■全体講演講師 阿部謹也先生プロフィール



1935年、東京生まれ。一橋大学大学院社会学研究科修了後、小樽商科大学教授・東京経済大学教授・一橋大学教授・国立歴史民俗博物館教授・一橋大学学長などを歴任。現在共立女子大学学長。その間、文化功労者審査会委員・学術審議会委員・国立大学協会会長なども務める。『ハーメルンの笛吹き男』『中世の窓から』『中世を旅する人びと』などの名著で知られる西洋社会史の大家。また、『世間とは何か』では、学問の対象としてほとんど研究されることのなかった「世間」を、日欧を比較しながら社会学者の目で鋭く分析している。常に、その根底には、学問研究とは決して象牙の塔のみで行われるものではなく、熱い血のかよった人間の手に于行われるべきことが示唆されている。

さらに最近では、大学のあり方についても、多くの重要な問題を提起している。『阿部謹也著作集—全10巻—』が筑摩書房より出版されている。サントリー学芸賞・大佛次郎賞・日本翻訳文化賞受賞。1997年には、紫綬褒章も受章している。

■会員登録のお願い

本研究会は、昭和38年設立以来、高等学校の各教科等に関する事項を研究し、会員相互の研修と識見の向上に努めている道内最大規模の高等学校研究団体であり、多年に亘る活動と成果を通して本道高等学校教育の充実・振興に大きく寄与しております。

平成13年度においても、高等学校教育の諸問題の解明と進展に寄与するため、15地区支部、13教科部会で調査研究を実施する他、研究大会を開催します。また、研究紀要・会報の発行を行い、全会員に配布します。

是非、本研究会の会員として積極的に研修活動を実践されることを希望しております。会員登録は各地区支部事務局校で行っております。

発行 平成13年7月
北海道高等学校教育研究会本部事務局
〒064-8535 札幌市中央区旭ヶ丘6丁目5番18号
北海道札幌旭ヶ丘高等学校
TEL 011-513-2238
FAX 011-513-2238